

道路行政における主要なアウトカム指標（案）

主要指標		H14現況値	H19目標値	内容
1. 活力 ～都市再生と地域連携による経済活力の回復～				
(1) 渋滞損失時間・損失金額	渋滞による損失時間	38.1億人時間/年	33.1億人時間/年	渋滞がない場合の所要時間と実際の所要時間の差（損失時間）及びその費用換算
	渋滞による損失金額	11.6兆円/年	10.0兆円/年	
(2) 路上工事時間		275時間/キロ・年	2割削減	道路1kmあたりの路上工事に伴う年間の交通規制時間
(3) 都市計画道路が整備された市街地に居住する人口比率		61%	65%	都市計画道路が整備された市街地に居住する人口比率
(4) 自動車専用道路交通分担率		13%	15%	全道路の走行台キロに占める自動車専用道路の走行台キロの割合
(5) 日常活動圏間交流ルート確保率		66%	68%	隣接する日常活動圏の中心都市間が改良された道路で連絡されている割合
(6) 日常活動圏中心への安定到達率		61%	66%	日常活動圏の核となる都市の中心部まで安全かつ安定的に移動できる人の割合
(7) ETC利用率		2.9%	全利用者の半数程度	ETC導入済み料金所におけるETC利用車の割合
2. 暮らし ～生活の質の向上～				
(8) バリアフリー化率		17%	53%	主要な旅客施設周辺の主な道路がバリアフリー化されている延長の割合
(9) 無電柱化率（幹線道路）		8%	13%	市街地、歴史景観地区の幹線道路のうち、電柱、電線のない延長の割合
3. 安全 ～安全で安心できる暮らしの確保～				
(10) 交通事故死者率・死傷事故率	交通事故死者率	1.13人/億台キロ・年	1.04人/億台キロ・年	走行1億台キロあたりの交通事故死者数、死傷事故件数
	死傷事故率	122件/億台キロ・年	118件/億台キロ・年	
(11) 災害時救援ルート確保率		69%	80%	日常活動圏の中心都市のうち隣接する中心都市への防災・震災対策が完了しているルートを少なくとも1つは確保している都市の割合
(12) 構造物保全率		81%	92%	舗装、橋梁、トンネル、法面の機能が良好に維持され補修を要しない延長の割合
(13) 機能維持指数		84	概ね現状水準を維持	巡回、清掃散水、街路樹剪定、路肩法面除草の実施水準
4. 環境 ～環境の保全・創造～				
(14) NO ₂ 、SPM環境目標達成率	NO ₂ 環境目標達成率	51% (103/201測定局)	76% (220/290測定局)	三大都市圏でNO ₂ とSPMについて環境目標を達成している測定局の割合
	SPM環境目標達成率	0% (0/101測定局)	62% (63/101測定局)	
(15) 夜間騒音要請限度達成率		66%	73%	夜間騒音要請限度を達成している道路延長の割合
(16) 自動車CO ₂ 排出削減量		-	3,200万t-CO ₂ /年	道路整備を含め対策を行わなかった場合の予測CO ₂ 排出量と実績CO ₂ 排出量との差分
道路行政の改革 (アカウントビリティの向上)				
(17) 利用者満足度		2.6点	3.0点	道路利用者に対する満足度調査結果
(18) 情報公開度	ホームページアクセス数	858万Hit/年	1億Hit/年	道路関係ウェブサイトと携帯電話向けサービスのアクセス数の合計
	道路IRサイト評点	33点	40点	民間のIRサイト格付け機関による道路IRサイトの評点

<注> 主要なアウトカム指標（目標値含む）は現時点のものであり、今後、社会資本整備重点計画（仮称）の策定過程において確定する。